

えがお



発行・甲斐高之

連絡先・大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288

自宅・大分市判田台南3丁目13-5 TEL・FAX097-597-6889 ✉taka7793@oct-net.ne.jp

「子どもたちをまんやかに」そしてみなさんの笑顔につなげます!!

3月4日(月)から25日(月)まで2024年第1回定例会が開催されました。足立市長が「人が真ん中」を掲げての市政がスタートして1年が経過しました。「見直し事業」として32事業の予算削減や事業廃止等が含まれた予算案が提案されました。見直された事業については概ね理解しますが、一部事業については今後の動向を注視しなければと感じており、どのような影響があったのか調査研究していきます(この件については改めて報告します)。今号では、私の一般質問や市政の最新情報等を中心にご報告いたします。



甲斐たかゆき でHPにもぜひお立ち寄りください。

今回の質問内容も含めて、これまでの質問の詳しい内容や日常活動等がご覧になれます。議会HPでも検索できます。



建設現場の労働環境改善と人材確保について

働く現場の笑顔を広げるために!

建設業界への女性活躍を促進するための各種補助制度のさらなる充実で、誰でも働きやすい労働環境となるように。そして将来の人材確保につながる現場見学会等をまずは公共工事において推進することを具体的な提案とともに訴えました。

〔甲斐の思い〕 今回の質問の大きな目的は、女性労働者が働きやすくなる環境整備、特に現場での女性専用トイレや更衣室の整備を推進すること。県の補助制度等があるものの現段階では事業所内のトイレ改修にしか活用できないことがわかりましたので、トイレや更衣室の改善を求めているのは建設工事の現場であることを改めて訴え、制度の拡充を強く要望。特に女性労働者の就労実態や現場の声を知ることは重要であり、大分市独自で実態把握することを提案。また小中学生対象の長期休業中等を活用した現場見学会等の新規企画で働く現場を見学するなどの直接的な体験が進路選択の上でも重要であることも訴えました。

大分市小規模特認校制度について

未来の笑顔につなげます!



1998(平成10)年度に開始した「大分市小規模特認校制度」は、近年の学校の状況から制度の目的と現在の学校現場の実態に差があり、児童生徒に寄り添った指導を継続するために新たな人員配置や制度の創意工夫等の必要性を検討する時期にきている。持続可能な制度となるためにも、今後の制度のあり方や支援体制を幅広く検証し、議論するための検証委員会を立ち上げてはどうかと考えるが見解は……と問いました。

◎教育部長答弁・概要

児童生徒一人ひとりの健全な育成に向けた学びの場確保の一層の充実が重要であることから、本制度の支援体制等のあり方について、各学校における児童生徒の実態等を踏まえながら検証していく。

〔甲斐の思い〕すでに25年間ほど経過した制度。数々の成果もあり、「地域の学校」を維持継続していくためにも必要で大切な制度。だからこそ、さまざまな困りや個性をもった児童生徒に寄り添った指導を継続していくために、「検証していく」の答弁を受け、現場教職員の声を大切にすること、勤務経験のある方々からも声も聞くなど、制度の幅広い検証となるように人的加配や環境整備の具体的視点の必要性を追加要望しました。

3月議会

2024年度・当初予算 2118億5000万円（一般会計）

（昨年比43億円減）

3月4日～25日まで、3月議会が開催され、2024年度の当初予算が承認されました。

今回は、昨年度肉付け後の予算より43億円の減ですが、新規事業は36事業でした。



3月議会

予算 主な新規事業は次の通りです。

◎救急医療電話相談事業（電話番号は#7119）・・・1300万円

救急車を要請すべきか迷う時に看護師等に電話相談できる窓口を設置します。

◎地域医療情報ネットワークの開始・・・9900万円

医療機関が相互に診療情報を共有する「おおいた医療ネットワーク」の運用を開始します。（本年7月開始）

◎消防指令業務の共同運用の開始・・・21億1700万円

県下市町村の消防指令業務を本市の荷揚複合施設で一元化するためのシステムを整備します。（全国初・本年10月運用開始）



消防指令センター完成予想図

◎返還免除型奨学資金資金事業・・・2100万円

学生の経済的支援と本市で活躍する人材の育成・確保のため、卒業後市内で働くか居住する者に返還を免除する奨学資金制度を開始します。

（市内全高校（支援学校も含む）の各校1名・・・年50万円）

◎子どもの医療用ウィッグ等購入費助成事業・・・156万円

疾患等で脱毛症状のある小中高生に、ウィッグ購入費の助成をします。

◎医療的ケア児在宅レスパイト事業・・・540万円

在宅で医療的ケア児の看護等を行う家族の負担軽減のため保険適用外の看護サービスの費用を助成します。

◎小学校5年生ピロリ菌検査事業・・・1250万円

希望者を対象にし、5年生の希望者に行っている血液検査にピロリ菌の項目を加え、胃がん発症リスクを軽減します。（会派では、学校での医療行為とがん教育については、今後議論すべきと考えます）

◎地域の食と居場所づくり推進事業・・・910万円

全世代対象に、地域食堂を通して交流活動を行う民間団体等を支援します。

◎デジタルトランスフォーメーション推進事業・・・7億7000万円

住民記録システム等の20業務システムを国の標準仕様書に準拠したシステムに移行し業務効率化を図ります。

◎園芸振興総合対策事業・・・8億4300万円

キクの大規模栽培施設整備やスマート農業技術導入費など助成します。

◎全国豊かな海づくり大会関連事業・・・1500万円

本年11月に開催予定の大会と関連行事を実施し環境保全の啓発と水産物消費拡大を図ります。

◎若者活躍推進事業・・・59万円

若者が市の施策への提案を行う会議体のあり方の検討を行います。

◎(仮称)おおいた花火大会補助・・・600万円 ※『おおいた「夢」花火2024』に決定
大規模な納涼花火大会の実施のため、実行委員会に経費の一部を助成します。

◎武漢市友好都市締結及びアペイロ市姉妹都市提携の45周年記念事業・620万円ずつ

それぞれの都市との締結などが45周年を迎えるための記念事業を行います。

◎貨物運送事業者支援事業・・・2億6000万円

燃料高騰に加え、2024年問題(時間外労働時間の上限規制)に直面する事業者を支援します。

一般議案

◎市介護保険条例の一部改正

第9期介護保険事業計画での第1号被保険者の介護保険料の改定を行います。基準額で月額650円のアップの6852円になります。

◎市奨学資金に関する条例の一部改正

返還免除型奨学資金を創設し貸与型奨学資金を廃止します。

◎市スポーツ施設条例の一部改正

新設校の大在東小学校に隣接する大在東グラウンドを本市のスポーツ施設として設置します。

◎「国宗市有地」を県に有償譲渡

県立大分鶴崎高校の第2グラウンドとして県に有償譲渡します。

意見書

今議会で採択された意見書はありませんでした。

〈我が会派から提出したが不採択になった意見書〉

◎被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

被災者が受給できる被災者生活再建支援制度の支援限度額が20年間据え置かれており、限度額の拡充などを求めます。

◎価格転嫁対策の円滑な実施と実効性確保を求める意見書

原材料費の高騰の中で中小企業では労務費への価格転嫁が進みにくい状況があるため、労務費転嫁のガイドラインが実効性のあるものになることを求めます。

人事 新副市長と新教育長

久渡 晃副市長が
清水久子副市長に

佐藤光好教育長が
粟井昭彦教育長に
交代します。

代表質問

安東房吉議員が
代表質問
しました。



大在東グラウンド
(奥は新設の大在東小)

すこやか検診（血液検査）について

真の学校現場の笑顔につなげるために！

今議会での予算案に、これまで行ってきた小学校5年生の希望者を対象とした「すこやか検診（血液検査）」の検査項目に「ピロリ菌抗体検査」を加えることが提案された。この事業の目的や実施方法を質問するとともに、これまでも課題であった学校現場での医療行為である「採血」を行う「すこやか検診」そのものを医療券的なものを発行して医療機関での受診検査を推奨してはどうかと提案し、その見解を問いました。

〔甲斐の思い〕ピロリ菌除菌の推奨年齢については学会によって見解が違ふこと、保険適用での除菌も15歳以上であることなど課題があり、検査をして陽性が判明したとしても、除菌までの期間が数年間あることへの不安等を指摘。繊細な子どもたちの心に寄り添ったフォローアップ体制となるように、委託機関での今後のていねいな対応を追加要望。さらに「すこやか検診」が、学校現場で関係者の創意工夫とご尽力（多忙化の一因となっている）のもと、実施されていることの課題を改めて訴え、「すこやか検診」そのものを学校現場で行わずに医療機関での受診検査となるように、ピロリ菌除菌検査の早期の検証と合わせて、新たな事業の制度設計や予算確保を訴えました。その実現に向けて、これからも注視していきます。

市政の情報コーナー

さまざまな事業の実現で、みなさんの笑顔につなげます！

① ヤングケアラー啓発事業 71.5万円

ヤングケアラーについての周知を図るため、配慮すべき内容や気づきを生むためのハンドブックを作成し、中・高生等に配布する。

② 子どものための医療用ウィッグ等購入費助成制度 156.2万円

がんやその他の疾患等の影響により脱毛症状のある小中高校生の経済的負担及び日常生活における心理的負担を軽減するため、医療用ウィッグ等の購入に係る費用を補助する。補助率は1/2、補助上限額は5万円。

③ 小中学校等屋内運動場照明LED化整備事業 1.52億円

電気使用料及びCO₂排出量の削減のため、すべての市立小中学校及び義務教育学校の屋内運動場（体育館）照明をLED化する。

④ 小中学校等屋内運動場空調設備整備事業 13.6万円

2025（令和7）年度からの整備に向けて、事業者の選定等を行う。

〔甲斐の思い〕①ハンドブック作成配布が現在行っている事業と連動し、ヤングケアラーとなっている児童生徒そして家庭への支援につながるように、さらなる実態把握と支援体制の検証改善を。②昨年度、大分市学校保健会主催の講演会で、NPO法人ASPJの方々も訴えていた取り組み（足立市長の公約のひとつ）。ヘアロスへの理解促進とともに制度の活用促進を見守っていきます。③まずは体育館のLED化の完成を注視します。そして教室照明のLED化につなげます。④いよいよ「えがお28号」に報告していた体育館の空調設備の整備が動き始めます。社会情勢的に事業実施に向けて不安点もあることから、着実な事業者の選定で、その後の資材や人材の確保につながるように注視します。特別教室への整備が連続して早期に行われることを関係各所の方々とともに引き続き訴えます。③④の事業実施の順番や連携も大切です。学校現場へのていねいな説明も要望します。

活動アラカルト

さまざまな活動で、みなさんの笑顔につなげます！



荷揚複合公共施設内
中高生の学習スペース



20歳のつどい
教え子とともに



建設現場で働く方々から
話を聞くために



能登半島地震
被災者支援募金活動



「大型弾薬庫新設に反対」
スタンディング行動



とある集会で
訴えかけ

あいさつ行動（*^_^*）
「7」のつく日を中心に
判田校区3カ所&
丹生校区で継続中
「STOP地球温暖化」や
「NOおおいたミサイル」
等のプラカードを持って！



フェイスブック



Instagram



X (旧Twitter)

ホームページやフェイスブック、Instagram、X（旧Twitter）でも、日々の活動・情報を発信中。どうぞご覧ください。

ご意見、ご要望等がありましたら、
気軽に声をかけてください！ 090-4991-6412

NO WAR! 戦争は最大の人権侵害です。まずは停戦です。世界中の人々に平和な日常を！そして真の笑顔。

甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・24年5月発行

画像は、4月7日(土)に「無人駅～ホームな人々～」を観劇後に小野不二野さん(作・演出)と佑希美和さん(キャスト)とともに撮影したものです。劇の構想が持ち上がった際に佑希さんより「無人駅の実態を知ってもらうために写真展をやりたい」とのご相談を受けました。若い世代の方にも一緒に考えてもらえるきっかけになればとの思いも伺いましたので、さっそく「未来応援コミュニティ b-room ぶるーむ」さんを紹介。後日、趣旨と意思の共有を図る場を設けることができました。b-roomさんが内容を整理した後にメンバーを募集。高校生を中心に集まったメンバーさんとともに b-room スタッフの方々が熱心に活動して写真展の準備をしてくださいました。結果として橋渡し役となった私ですが、前日準備に参加。一緒に準備ができ、私自身も刺激をもらえました。メンバーさんのアイデアで事前にアンケートそして集約、吹き出しに思い出を書いてもらうなど、工夫もいっぱい。参加型の写真展となっていて劇とともに「無人駅」のことを考える貴重な場となりました。企画・運営そして実践ありがとうございました。竹中自治会有志の方々も熱演。長編劇でしたが、設定とストーリーの巧みな演出で、時間を忘れて見入っていました。すばらしい作品でした。☆好評につき、今後のことをいろいろと画策中とのこと。お楽しみに。



左画像は、4/26(金)「チェルノブイリ原発事故はまだ終わっていない」スタンディング行動に参加した時のものです。故・島田雅美さんの意志を引き継いで九電大分支社前で活動されている方々に連帯しての活動。未来の子どもたちに「核のごみ」をもうこれ以上押しつけないためにも「脱原発」が必要です。電力不足や電気料金の高騰等、課題も多くありますが、国が主力電源を「火力発電」や「原子力発電」から「再生可能エネルギー」に変更することで未来は変わってきます。昨年、ドイツ国内では「脱原発」を実現しています。ドイツとは地理的・政治的な状況が違っても、地震が頻繁に起こっている日本こそ、福島原発事故の教訓を忘れることなく、「脱原発」を少しでも早く実現しなければならない国です。

右画像は、4/16(火)大分市平和運動センター&大分市勤労者協議会合同の学習会で、「大分敷戸弾薬庫新增設の問題点」について、講師役をつとめた時のものです。これまでの経過と情勢、敷戸弾薬庫の問題点、「軍事ではなく平和外交を」等、20分間ほどお話しさせていただきました。日本周辺での有事を想定して「軍事力増強」を押し進める現政権。日本と平和友好条約を締結している唯一の国である中国、そして大分市と武漢市は友好都市です。私も会員となっている「大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」の方々とともに大分市からできる平和への取組を模索しながら、平和運動の輪と連帯のつながりを広げていきます。



例年この時期に発行している「えがお号外」に掲載している「**大分市の教育現場の支援体制**」について、2024年度分も予算段階の数値をもとに現状確認してまとめました。どれも大切な支援体制です。しかし、「**定年延長**」の関係で、これら支援体制が今後ピンチになるかもしれません。それは、主な人材として退職された方々を期待していたからです。「**支援**」が**縮小等しないように**、現状の検証とともに**持続可能な支援**となるように、今後の支援体制のあり方を検討する時期にきているのではないのでしょうか。私自身も現場の声を聞き、考えていきます。

もちろん大切なのは・・・**少人数学級の着実な推進**と**中学校での「35人学級」実現**です。**引き続き**関係するすべての方々とともに訴えていきます。欠員が生じている学校現場への早期の人員確保についても、現場の厳しい状況を具体的に伝えながら訴え続けます。

No.	職種名(事業名)	開始年度	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
①	補助教員(特別支援教育等教育活動サポート事業)＋アドバイザー	2005年 (平成17)	134名＋ アドバイザー3名	140＋幼6 アドバイザー3名	143＋幼3 アドバイザー3名
②	スクールソーシャルワーカー ※社会福祉等の専門的な知識・技術を有する方	2013年 (平成25)	4＋24名 (4名はエリア担当)	4＋24名 (4名はエリア担当)	4＋24名 (4名はエリア担当)
③	外国語指導助手・ALT (R3～民間事業者からの派遣も)	1993年 (平成5)	28＋6名 (民間)	26＋5名 (民間)	23＋8名 (民間)
④	イングリッシュアドバイザー ※英語教育の充実、定期的に小学校へ派遣	2020年 (令和2)	3名	3名	3名
⑤	教科指導マイスター ※18名(国4・社3・数4・理4・英3)	2016年 (平成28)	18名	18名	18名
⑥	大分っ子学力向上非常勤講師	2006年 (平成18)	25名	25名	25名
⑦	スクールサポートスタッフ ※印刷等学習に関連する様々な対応	2018年 (平成30)	81名	81名	82名
⑧	学校図書館支援員 ※2007年度は44名で開始	2007年 (平成19)	60名	60名	61名
⑨	日本語指導専任指導員	2020年 (令和2)	2名	2名	3名
⑩	スクールライフサポーター ※不登校傾向にある生徒への学習支援・自立支援	2020年 (令和2)	9名	12名	13名
⑪	部活動外部指導者 開始時は53名、人材バンク登録制度	2015年 (平成27)	249名	271名	259名
⑫	部活動指導員	2018年 (平成30)	32名	32名	30名

上記の⑨について・・・指導員創設当時から意見要望していた増員がやっと実現。今後さらに日本語サポートが必要となってくる外国国籍をもつ児童生徒の増加が予想されます。更なる増員と指導員の指導ノウハウの継続性確保策等を訴えていきます。

右画像は、**判田校区人権尊重推進協議会総会** 4/17にて、**高校生平和大使**の活動とスローガンである「**ビリョクだけどもリョクじゃない**」を紹介。人権についても学び続けることの大切さを話しました。



大分市議会議員 甲斐高之(判田台南在住) 連絡先 090-4991-6412